

平成 25 年度
筑波大学基金 活動報告及び実績報告

国立大学法人筑波大学
連携・渉外室

平成 25 年度活動報告

平成 25 年度は、これまでの募金活動を踏まえて、「開学 40+101 周年記念募金」を開始しました。また、こうした活動を通して、卒業生、地域企業、諸団体等との連携を強化するとともに、「筑波大学校友会」の SNS サイトを充実させ、ネットワークの拡充を図りました。これらを推進することにより、安定的かつ恒常的な募金体制を確立することに努めました。

■学内における活動

前年度に引き続き、安定的かつ恒常的な募金体制を構築するため、教職員に対し給与控除による寄附の増大を図りました。

区 分	活 動 内 容	備 考
教育職員	全教員へ電子メール依頼	7 月 24 日送信
	全教員へ学内郵便依頼	8 月 21 日発送
	諸会議での依頼：6 回	—
事務系職員	全事務系職員へ電子メール依頼	7 月 24 日送信
	全事務系職員へ学内郵便依頼	8 月 21 日発送
	諸会議での依頼：3 回	—

※上記活動により、前年度の給与控除参加者 254 人から、平成 25 年度は、596 人増加し 850 人（退職者を含む）になりました。

■企業・団体等に対する活動

企業・団体等については、本学の取引先や関係する企業・団体を中心に個別訪問や郵送による寄附依頼を行いました。

	活 動 内 容	備 考
個別訪問	取引先等：281 件	—
	寄附実績：173 件	—
	学内紹介：36 件	—
	寄附実績：4 件	—
郵送依頼	一括発送：452 件	2 月 5 日発送
	学内紹介：77 件	9 月 10 日発送

■卒業生・同窓会組織に対する活動

茗溪会をはじめ卒業生に対し、郵送による寄附依頼を行いました。

区 分	活 動 内 容	備 考
茗溪会	郵送依頼：20,600 件	10 月下旬発送
その他	第 16 回ホームカミングデーで依頼：350 件	11 月 3 日配布
	本学として把握している住所宛（実家を含む） 郵送依頼：11,685 件	12 月 26 日発送
	桐医会郵送依頼：3,050 件	12 月 19 日発送

■在学学生家族に対する活動

在校生家族に対し、郵送による寄附依頼を行いました。また、附属学校の在学学生家族に対しては、附属学校ごとに個別に寄附依頼を行いました。

区 分	活 動 内 容	備 考
在学学生家族（大学）	郵送依頼：6,529件	10月22日発送
	郵送依頼：7,712件（紫峰会）	2月27日発送
在校生家族（附属）	附属学校ごとに個別依頼：4,650件	11月21日発送

■退職教職員に対する活動

名誉教授をはじめ退職教職員に対し、郵送による寄附依頼を行いました。

区 分	活 動 内 容	備 考
名誉教授	郵送依頼：527件	9月12日発送
名誉教授（医学関係）	郵送依頼：31件	9月12日発送
旧教職員（学内データ）	郵送依頼：2,271件	10月22日発送
旧教職員（医学関係）	郵送依頼：531件	9月11日発送
旧教職員（筑峰会）	郵送依頼：210件	10月30日発送

■筑波大学基金パンフレットの配布状況

開学40+101周年記念募金パンフレットを下記のとおり配布しました。

事 項	部 数	配 布 日
第17回茗溪・筑波グランドフェスティバル	30	1月26日（前年度実施）
筑波デザイン展他	60	6月4日～7月28日
日本教育経営学会第53回大会	100	6月7日～9日
日本社会教育学会2013年度6月集会	100	6月8日～9日
なでしこサッカー教室つくば	200	7月7日
開学40+101周年記念シンポジウム 「社会とともに大学の未来を共創する」	300	10月11日
アジア情報アクセスサマースクール	40	6月22日～24日
ひらめきときめきサイエンス	100	8月
鹿行震災復興シンポジウム	30	10月6日
開学記念式典	150	10月1日
第4回筑波みらいの会総会	30	10月13日
『知の開拓者（パイオニア）たち』	150	10月21日～11月22日
県南学習センター広報（古本チラシを含む）	20	11月
第18回茗溪・筑波グランドフェスティバル	30	1月25日
公開講座	30	通年
大学会館・本部棟の配架用	300	通年

■地域との関係構築

「学長を囲む会」のメンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めました。

開催日	研究紹介
平成 25 年 4 月 23 日 (火)	生命環境系 恩田裕一 教授 「放射能汚染に関して」
平成 25 年 7 月 23 日 (火)	芸術系 稲葉信子 教授 「世界遺産富士山登録までの道のりと国際社会における意義」
平成 25 年 10 月 31 日 (木)	総合科学技術会議 議員 久間和生 「産業競争力を強化する科学技術イノベーション」
平成 26 年 2 月 5 日 (水)	体育系 真田久 教授 「2020 東京オリンピック・パラリンピックへの展望」

■卒業生との連携（筑波みらいの会）

平成 24 年度に立ち上げた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、5 月に「筑波みらいの会」として正式に発足し、総会を 2 回（5 月と 10 月）開催しました。

当会は設立意義として次の 3 点を掲げています。

- (1) 会員同士が連携・交流すること
- (2) 会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
- (3) 大学の成果・情報を会員に提供すること

当会は、経済界で活躍されている卒業生・修了生に対し、本学との交流を深めていただくとともに、会員相互の交流、情報交換の場として活用いただくことにより、本学と会員とが共に発展できるような有益なネットワーク構築を目指しています。

11 月の学園祭「雙峰祭」では、会員が中心となってパネル・ディスカッション『“みらい”の企業家に伝えたいメッセージ』を開催し、学内外から高い評価をいただきました。

■筑波大学校友会サイトの活用

平成 24 年 7 月より筑波大学校友会サイト内に SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス（Social Networking Service））サイトを開設し、運用しています。

この SNS サイトは、平成 25 年度末現在で 3,100 人ほどの登録者を数えていますが、活性化を図るため次の取組みを実施しています。

- ・学生サークルや同窓会組織などの関係団体への利用啓発活動
- ・各種広報媒体による PR（定期刊行物への掲載、発送物へのチラシ同封ほか）
- ・一層の活性化に向け、平成 26 年度新 1 年次生からの全員加入を行うこととした。
- ・筑波大学校友会 SNS サイトの利便性向上のため、平成 25 年 4 月より、ソフトをバージョンアップするリニューアルを実施し、スマートフォン対応機能を拡充したほか、ユーザーの要望を受け、必要に応じて改修を図った。
- ・ユーザープロフィール欄を追加整備し、同窓会コミュニティへの自動加入機能を付加するなど、データベースとしての利用が行えるようにした。

なお、校友会サイトトップページには「筑波大学基金」サイトへのリンク用バナーを設置し、基金への寄附案内を実施しています。

■筑波大学基金からの支援状況

前年度の寄附受入れ金額を基礎とし、その50%相当額（使途特定を除く）を次のとおり支援を行いました。

事 項	支 援 額 (単位:円)
筑波大学附属駒場中・高等学校 ※	100,000
開学40周年式典関係 ※	725,000
学園祭	800,000
つくばスカラシップ	5,700,000
附属学校支援	800,000
宿舍祭	300,000
国際統合睡眠医科学研究機構 ※	850,000
医学学生支援 ※	50,000
国際総合学類創立30周年記念 ※	128,000
ホームカミングデー ※	500,000
茗溪・筑波グランドフェスティバル ※	500,000
合 計	10,453,000

※は使途特定による寄附

平成 25 年度実績報告

■平成 25 年度実績 ※開学 40+101 周年記念募金期間 (H25. 1. 1～H25. 3. 31) を含む

○現金による寄附 101,097,821 円 6,333 件

【内訳】

単位：円

区分	寄附額	件数
現金による寄附	89,020,917	6,269
うち 法人	40,378,271	171
うち 個人	48,642,646	6,098
筑波大学スポーツアソシエーション (TSA) 事業	363,670	25
附属病院支援事業 (病院寄附金)	11,713,234	39
合計	101,097,821	6,333

○財物による寄附 57,148,739 円 11 件

【内訳】

単位：円

寄附者	評価額	内容
筑波大学附属坂戸高等学校後援会	905,000	スズキ キャリー (軽トラック)
筑波大学附属駒場中・高等学校駒場会	328,860	木製スツール
平成 24 年度附属坂戸高等学校卒業記念	671,605	附属坂戸高等学校殉難碑周辺整備
筑波大学附属駒場中・高等学校後援会	1,754,550	トレーニング室鏡・壁掛型時計
株式会社三協社	589,312	丁合機
卒業生	1,200,000	ペスタロッチライフマスク
筑波大学附属駒場若葉会	459,900	エアコン
附属高等学校向上会	29,400,000	空調機設備 (校舎北側・東側)
筑波大学附属小学校後援会	2,601,952	スライド式電子黒板及び周辺機器
筑波大学附属小学校後援会	3,398,100	LED 照明設備
筑波大学附属小学校後援	15,839,460	ビジネスプロジェクター外
合計	57,148,739	

○運用実績 111,312 円

【内訳】

単位：円

区分	利息
譲渡性預金利息	99,726
普通預金利息	11,586
合計	111,312

■教職員向け給与控除による寄附実績

教員 449人 参加率 22.0%
事務系職員 364人 参加率 18.7% (附属病院を除く参加率 32.3%)
寄附額 計 11,617,100円

■古本募金

延べ 262人 寄附額 計 735,714円

■基金設立時からの累積寄附額

平成22年4月1日～平成26年3月31日
寄附総額 373,787,913円 10,783件(延べ件数)

【内訳】	単位：円	
区分	寄附額	件数
現金による寄附(特定基金含む)	249,988,429	10,017
財物による寄附(評価額)	101,682,357	21
震災義援金	22,117,127	745
合計	373,787,913	10,783

平成25年度総括

我が国の経済は、東日本大震災から3年を経過し、少しずつ明るい兆しが見えてきておりますが、まだまだ予断を許さない厳しい社会情勢が続いております。

こうした中で平成25年度は、開学40周年という節目の年であり、5月に開催された筑波大学基金運営委員会において記念募金の実施が提言され、7月の役員会において「開学40+101周年記念募金」事業が正式に決定しました。募金の目的は、本学におけるグローバル人材育成の支援です。募金目標額を150,000千円とし、募金期間を平成26年9月までとしました。具体的な支援事業は、5か年計画で、優秀な学群学生の海外留学支援、附属学校の国際交流事業支援及び海外キャンパスの整備・拡充です。これらの事業を通して、国際性の日常化を促進し、自立する学生を育て、世界で存在感のある大学を目指します。募金活動を、関係する企業・団体をはじめ、卒業生、退職・現職教職員、後援会等を対象に広く展開し、平成26年3月末で募金額は101,097千円となっています。

また、寄附の多様化として開始した「古本によるご寄附 FUTURESHIP with BOOK DONATION」も2年目を迎え、「古本募金」として着実に定着しつつあります。募金額も前年度比77.1%増となっています。

平成26年度は、前年度に引き続き、「記念募金」活動を積極的に展開し、当初計画であるグローバル人材育成の支援を達成することを目指します。また、これを機会に、卒業生や地域企業等、様々なステークホルダーとの関係を強化し、寄附者の拡大へと繋げ、大学の使命である教育研究・人材の育成に努めるとともに、さらには10年後の開学50周年に向けて支援体制の整備を図ってまいります。